

興味に応じコース選択

きょうから
三浦市社協 ボランティア講座

三浦市社会福祉協議会は、三日から、興味に応じて三つのコースを選択できる連続のボランティア講座をスタートさせる。介助ボランティアを養成するコース、ボランティアの基礎や心構えを学ぶコース、男性向けのコースが用意されている。初級、中級、上級の三

芸術療法を手掛けている彫刻家金子健二さんから講師を務める。パステルクレヨンを使ったアートセラピーを体験し、痴ほう性高齢者などとの接し方を身に付ける。

中級以降は三コースに分かれる。介助・移送ボランティアの中級講座(十日)では、NPO関係者を招いて在宅介護などについて学び、実際に挑戦する上級講座(十三日、八月一日)へ

とステップアップする。ボランティアの基礎を学ぶコースは、車いすに乗って町にあるバリアーを体験(中級十七日、上級八月六日)。男性向けの講座では、

子供と一緒にボドボトル口ケットつくり挑戦する(中級三十一日、上級八月七日)。申し込みや持参するものなどについての問い合わせ

三浦市社会福祉協議会(046-81-1111)。

介助の実態肌で感じる

三浦の
高校生 ボランティアを体験

三浦市内の高校生に介助体験教室が二十八日、スに必要な知識や心構えを身タートした。約十人の生徒に付けてもらうボランティアは三十日までの三日間、デ



イサービスを手掛けている地域福祉センター(同市栄町)などの施設で、お年寄りや障害者の生活をサポートする。

参加生徒は指導員とのミーティングを

済ませ、利用者を施設に案内。入浴や車いす利用者の介助に取組む。指導員とのミーティングを

「思っていたよりも大変です」と話しながらも、ひたむきに介助に取り組む生徒

掛けながら食事を手伝った。レクリエーションに加わるなどしてお年寄りたちと交流を深めたほか、車いすや浴室の清掃も行い、額に汗しながら介助の意義と難しさを肌で感じてい

た。二十九日には、送迎に同行して、より実態に即した実習に取り組むという。

地域福祉センター